

再 西伯南ライオンズクラブが南三陸町を訪問 活の町から復興支援を願う

西伯南ライオンズクラブが6月22日から24日の3日間、東北の被災地を視察しました。

南部町役場職員の加納真一さん（総務課）が派遣されている宮城県南三陸町役場を訪問し、佐藤仁町長にメンバーから寄せられた義援金10万円と、町の特産品「竹するめ」を贈呈しました。また南部町商工会の会員でもあるメンバーから、同商工会からの義援金10万円も手渡しました。

仙台から岩手県大槌町までの海岸沿いを回りましたが、家の基礎だけ残った町には雑草が生え始め、複雑な心境でした。失われた尊い命に思いを寄せ、一日も早い復興を願わずにはいられませんでした。

※この記事は西伯南ライオンズクラブ・亀尾様から寄せられました。



佐藤南三陸町町長(中央)と西伯南ライオンズクラブの皆さん

今 ふれあいチャリティー芸能大会 年の司会は中学生！

6月30日に「第21回ふれあいチャリティー芸能大会」が開催され、演歌の歌声や、色鮮やかな踊り子たちが日頃の練習の成果を発表しました。

今年は、南部中学校1年生の有志が司会から裏方まで手伝い、先生方もバンド演奏するなど、バラエティあふれる芸能大会となりました。ゲストの島根スサノオマジックの専属チアダンスチーム「アクア☆マジック」の元気なパフォーマンスに会場も大いに盛り上がりました。

この芸能大会は、公民館教室生等の発表の場として開催され、来場者の皆様から頂いた募金は、町内の小中学校へ寄付します。ありがとうございました。

(募金総額 68,733円)



出演した皆さんの発表に会場は盛り上がりました

古 母塚山観音建立 事記ゆかりの地に新しいシンボル

南部町福成にある母塚山に、観音像が建立されました。

これは、米子市出身で東京都在住の新納重臣にいのうしげおみさんから南部町に寄贈されたものです。新納さんが昨年5月に母塚山を訪れた際、大山を望む雄大な景色に感銘を受け寄贈の運びとなり、地元の皆様のご理解、ご協力のもと高さ11mの観音像が建立されました。観音像は、寄贈者の新納さんにより「母塚山観音」と名付けられました。

7月10日には建立式が挙行政され、地元関係者をはじめ、たくさんの人が母塚山に来られました。



建立式において